



夕刊
津山朝日新聞社
岡山県津山市田町1
電話0868-22-3131

津山信用金庫

いつもあなたと
明日 南東の風、くもり夜雨
明後日 北の風、くもり時々雨

昨日の最高気温	17度
昨日の最低気温	2度
平年の最高気温	18度
平年の最低気温	9度
今年の最低気温	2度
今年の最高気温	18度
水点下	1.2度

販路開拓商談会

自慢の商品売り込む

特産・加工品一堂に

バイヤーら 100人参加
地元企業19社

販路開拓商談会(つやま新産業創出機構、津山市主催)が24日、山下の津山国際ホテルで開かれ、地元企業19社が各自慢の商品をバ

イヤー(小売・流通業者)ら約100人に熱心に売り込んだ。出展は、同機構が事務局を務める「津山食料産業クラスター推進協議会」の会員。東京の見本市などへの出展

があるが、地元でまともって開催するのは初めて。自然薯(じねんじょ)や津山ホルモンうどん・干し肉、各種きな粉・ハト麦、ジャージー乳レアチーズ豆乳デザート、作州津山ビールなど、地域の特性を生かした農産物や加工食品など多彩な商品が並んだ。県内のバイヤーのほか、津山地域の食と観光を結びつけようと北海道や九州、東京方面の旅行代理店も招

待。参加者が各ブースを回り、企業の担当者は試食を勧め、売り込みに躍起だった。中国自動車道勝央サービスエリアなどへ出店している岡山ルートサービスの福島梯二帯務は「一堂に並べられるのはありがたい。すでに取り引き、また折衝中の企業もあるが、それ以外で気になる商品があった」と話していた。

大型店にあるのではなく、商店街そのものが中心市街地の衰退を促進する大きな要因になっているのではないかと考え、市街地が抱える根本的な問題として「土地問題」にたどりついた。この問題を解決するために採った手法が、「土地の所有権と利用権の分離」。地権者の出資で作ったまちづくり会社がすべての地権者と60年の定期借地権契約を結んでその使用



担当者から商品の説明を聞くバイヤーら

民間主導の重要性強調

津山市中心市街地活性化

80人聴講 古川理事長(丸亀町商店街)講演

中心市街地再生で成功を収め、注目を集めている高松丸亀町商店街(香川県)の古川康造同商店街振興組合理事長を講師に招いた講演会(津山市中心市街地活性化協議会など主催)が24日、山下の津

山圏域雇用労働センターで開かれた。古川さんは繰り返し「民間主導の重要性」を強調し、地域に対して自ら責任を負う「本気の覚悟」を訴えた。写真は「1000年」先もにぎわい続ける商

店街を目指して高松丸亀町商店街、民間主導による市街地再生」約80人が聴講した。同商店街の最大の特色である土地への取り組みに至った経緯を説明。古川さんたちは衰

び戻そうと、熱心に街づくりに取り組みあらゆるイベントをやりましたが、人は集まらなかったものの、売り上げは増えなかったという。そこで全国各地のさまざまな失敗事例を研究。そこから、「まちづくりはダイベロップ」や行政まかせではなく、地元が主導しないと成功しない」と考えるに至った。

また、居住者を取り戻すために行った、高齢者向け住宅の整備などについても解説し、参加者は熱心にメモを取るなどして耳を傾けていた。

「しが原点」

講演会
柳川(作家)指摘

都市部のいのちを繋ぐ関係者